



チャレンジする夏休みに

今日は1学期の終業式でした。子どもたちは、各教科等の学習と様々な行事をとおして、友達やいろいろな人と関わりながら、めざす児童像である、「賢い子」「がんばる子」「優しい子」「協力する子」に向けて、一日一日よくがんばってきました。今日の終業式では、1学期の生活を振り返るとともに、これから始まる夏休みをチャレンジする夏休みにしようと、次のような話をしました。

始業式で、私は皆さんに「今年1年間、いろいろなことにチャレンジして、ぴっかぴかに輝いてほしい。」という話をしました。そしてそのためには、こんな人になってほしいと、4つお話をしました。1学期を振り返ってみましょう。

- 1つ目は、「かしこい子」。「かしこい子」になるためには、自分で考えること。
- 2つ目は、「がんばる子」。「がんばる子」になるためには、目標を立てて努力すること。
- 3つ目は、「やさしい子」。「やさしい子」になるためには、まわりの人を大切にすること。
- 4つ目は、「協力する子」。「協力する子」になるためには、力を合わせること。

が大切というお話をしました。この1学期はどうでしたか。がんばれたこともたくさんあるでしょう。もう少しだったかなということもあるかもしれません。大事なことは、今の自分を振り返ることです。そして振り返ってみて、もっとこうしたいと思うことや、もっとがんばらないといけなと思うことがあれば、それを実行することです。今日は1学期の自分を振り返る日にしましょう。

いよいよ明日からみんなが楽しみにしている夏休みが始まります。今年の夏はフランスのパリで、オリンピック・パラリンピックが開かれます。日本から、世界中のいろいろな国から、代表の選手が集まって、金メダルや、自分の記録にチャレンジするのです。

私は、オリンピックやパラリンピックの選手が、自分の力を精一杯出して、金メダルや、記録にチャレンジする姿を、とっってもかっこいいと思います。なぜなら、自分の目標に向かって努力したり、きつくても途中であきらめずに続けたり、失敗してもそれを乗り越えようと頑張ったりする姿が、とてもすごいと思うからです。

さあ、皆さん。チャレンジすることは、皆さんにもできます。夏休みは36日間あります。せっかくの長い休みですから、何か一つでもいいからチャレンジしてみてください。

今までやったことがない、何か新しいことにチャレンジしてもいいですね。新しいことにチャレンジすることで、新しい発見があるかもしれません。今まで気づけなかった、自分のよさに気づくことができるかもしれません。

今がんばっていることを、夏休みの間に続けることでもいいですね。お手伝いとか、読書とか、生き物や植物の世話とか、いっぱいあると思います。今までがんばっていることを、夏休みの間に続けたり、今までよりもう少しがんばってみたりすることも、立派なチャレンジです。

何か一つでもいいからチャレンジして、「夏休みはこんなことをがんばったよ」と言える夏休みにしてほしいと思います。チャレンジする夏休み。思い出に残る充実した夏休みにしましょう。

子どもたちが、この1学期間をがんばることができたのは、本人の努力はもちろんですが、保護者や地域の皆様に様々な面で支えていただいたからです。明日から36日間の夏休みに入ります。どうぞ子どもたちが、夏休みを安全に過ごせますよう、そしていろいろなことに積極的にチャレンジできますよう、ご指導とお声掛けをよろしくお願いいたします。

1学期間、本当にありがとうございました。